



## 卒業生より

平成 25 年度卒業生 生活科教育専修 近 藤 美 優

1 回生の皆さん、ご入学おめでとうございます。第一志望で喜んで入学した方も、滑り止めで来た方もおられると思いますが、国立大学に入学したことは事実です。おめでとうございます！

この場で少しでもお話しさせていただきます。大したことは書きません。

わたしは少しだけ変わった大学生活だったように思います。大学のサークルには入らずに、地元のとある社会人チームに入って好きなことをしていました。2 回生から 3 回生に上がる時には、家庭科教育から生活科教育に転籍しました。他にもいろいろありますが、わたしのことはもういいです。

大学に入ったら、「こんな大学生活を送ってみたい」という期待のようなものは、みなさんお持ちだと思います。わたしもそうでした。

この文章の流れだと、「そんな簡単にはいきません」と繋がりそうですが、そんなことはありません。そんなものは自分の努力でなんとかできます。大学生は、中学生や高校生の頃とは違って、時間にもお金にもゆとりが出てくるので、わりとなんとかできるんです。

やりたい部活やサークルがなければ、自分たちで作ってもいいし、大学の外で探してもいい。もっと勉強したいなら、何か資格をとればいい。たくさん遊びたいなら、たくさんバイトして旅行にでも行けばいい、と思います。

自分が傷ついたり、人に迷惑をかけたらしなければ、やりたいことをできるだけやっておくことをオススメします。4 年間なんてあっという間です！



それから、将来について考える機会が多くなってきます。わたしが入学したときとは違い、総合課程がないので、教員志望の方の割合は多いのかな？と思います。同じ目標があると刺激になります。切磋琢磨して、4年後には良い教師になっていることを願います。

でも、無理に教師にならなくても良いとも思います。(こんなことを書くと怒られそうですが)教育実習に行って、中学校志望から小学校志望に変わった人もいます。教師そのものを目指すのをやめた人もいます。入学時から高校志望で貫き通した人もいます。なんなら、初めから一般企業を目指していた人もいます。

自分の人生です。たくさん悩んで、自分で結論を出してください。

それでも、どうしても悩んだときは、誰かに相談すると良いと思います。進路のことだけじゃなくて、どんなことでも、誰かに話すことで考えがまとまったり、落ち着いたりします。そんなことは言われなくてもわかってる！という人もいると思いますが、なぜかそれが難しくなるときもあるんです。

ひとりで悩む必要はありません。

この4年間、私自身、多くの人に支えられてきました。ご指導してくださった先生方や、相談に乗ってくださった職員の方々、そして実習等でお世話になった学校の教職員の方々や子どもたち、本当にありがとうございました。

また、一緒に過ごした先輩方や友人、そして自分の思うようにさせてくれた家族に、心より感謝しています。

最後になりましたが、保健センターの辻井先生、藤林さん、勢渡さんに、4年間分の感謝の気持ちを伝えたいと思います。この4年間、大学生活を送るための心の支えになっていました。他愛もないことから、本当に悩んでいるときまで、話を聞いてくださって、本当にありがとうございました。

